

社会医療法人寿楽会 大野記念病院

〒550-0015 大阪市西区南堀江1-26-10

地下鉄御堂筋線・四ツ橋線・千日前線 各なんば駅、
近鉄線・阪神線 大阪難波駅からお越しの場合

地下街「なんばウォーク」をJR難波駅(OCAT)方面へ進み、
26番OCAT出口(千日前通)からなにわ筋方面(西)へ向かいます。
信号二つ目を右折(北)し、約100mで当院正面玄関へ。

地下鉄千日前線 桜川駅からお越しの場合

5番出口(千日前通)からなにわ筋方面(東)へ進み、幸町一丁目交差点を直進。
次の信号を左折(北)し、約100mで当院正面玄関へ。

地下鉄四ツ橋線 四ツ橋駅からお越しの場合

5番出口から四ツ橋筋を南へ(車の流れと逆の方向)進み、
道頓堀川の手前を右折(西)し、約200mで当院正面玄関へ。

JR大和路線 難波駅・

大阪シティエアターミナル(OCAT)からお越しの場合

千日前通りをなにわ筋方面(西)へ進み、
信号二つ目を右折(北)し、約100mで当院正面玄関へ。

診療科案内

Medical Department 2024

甲状腺センター

Thyroid Center



甲状腺センター

Thyroid Center

A. バセドウ病

甲状腺機能亢進症の鑑別診断を行い、バセドウ病の確定を行ったのち、抗甲状腺薬による内科的治療に加えて、難治性の場合には当院の乳腺・内分泌外科にて切除を行っています。

B. 橋本病

女性(特に30~40歳代)に非常に多く、甲状腺機能低下症発症時にはチラージンSの補充療法を行います。特に胎児の精神発達障害を是正するため、妊娠時は厳格な管理を要します。また、出産後の甲状腺機能異常の管理も行います。

C. 亜急性甲状腺炎

炎症／疼痛著明時には鑑別診断後に診断確定したのちに、必要な場合にはステロイド治療も行っています。日常の社会活動の維持を図るために、機能亢進症／低下症において機能異常を最小化するための薬物治療を心がけています。

D. 無痛性甲状腺炎

甲状腺機能亢進症の鑑別診断を行い、無痛性甲状腺炎の確定を行ったのち、日常の社会活動の維持を図るために、機能異常を最小化するための薬物治療を心がけています。

E. 甲状腺腫瘍(良性／悪性)

甲状腺腫瘍に対して、エコーやCTなどの画像診断を行ったうえで、エコーや穿刺吸引細胞診にて良性／悪性の診断をします。80%程度は良性や腺腫様甲状腺腫で、定期的な検査で済みます。悪性の場合でも、一部を除いて生命予後の良好な分化型腺がんの可能性が高く、必要な場合は、乳腺・内分泌外科にて摘出を行います。

診療科の特色

甲状腺センターは、代表的な内分泌疾患である甲状腺疾患の治療を多数経験した、日本内分泌学会の内分泌代謝専門医である内科医師と乳腺・内分泌外科の外科医がチームとなり、内科的治療から手術療法も含めた高度な専門医療を包括的に提供できる大阪では数少ない施設です。甲状腺機能異常は幼児期から老年期までの幅広い年齢の患者まで見られます。代表疾患である橋本病は妊娠・出産を計画している若年女性に多く、胎児の健康面を考慮した妊娠時の母体の厳格な甲状腺管理が胎児の健常な発育に重要とされており、当院でも多くの患者さまの診療を行っています。昨今、甲状腺腫瘍を肺CT検査や頸動脈エコー検査などで偶発的に指摘される患者さまが増加しています。当院では、甲状腺エコー検査を実施後、必要に応じてエコーや穿刺吸引細胞診を同日に施行するシステムを採用しています。手術に関しても、大阪公立大学医学部附属病院 乳腺・内分泌外科にて約2,000件余りの手術に執刀医もしくは指導的助手として参加してきた実績がある常勤医師が行います。甲状腺手術の合併症である出血、嘔吐(声がれ)、副甲状腺機能低下(低カルシウム血症)には細心の注意を払っています。手術では術中神経モニタリングシステム(NIM Vital™)を導入しています。このシステムは近年の甲状腺手術において必須の機械であり、手術の安全性が飛躍的に改善しているため、安心して手術を受けていただけます。また、一般的な手術は頸部に切開を行いますが、要件を満たせば頸部に切開を設けない内視鏡手術も可能です。加えて、甲状腺がんに対する薬物療法(分子標的治療)にも力を入れています。近畿圏内で甲状腺がん診療を行う複数の施設で作っているネットワークに当院も参加しており、最新の治療法に関する情報を患者さまに提供できるようにしています。必要であればまだ標準的治療にいたっていない段階の治験治療のご案内もしています。なお、当院は大阪公立大学医学部附属病院と密接に連携をしていますので、より高度な治療が必要と判断した場合は、速やかに紹介させていただきます。

ごあいさつ

名誉院長
甲状腺センター長

稻葉 雅章



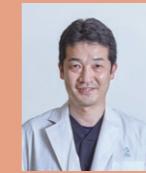
大野記念病院は、これまで地域の救急医療・専門診療を支える中核病院としての機能を果たすとともに、慢性腎臓病・透析医療において、大阪での主たる施設の一つとして地域医療に貢献してきました。私の所属する内科部門の専門診療も充実しており、私の専門分野である糖尿病、腎臓病、透析、骨粗鬆症、リウマチ／膠原病に加えて、消化器、呼吸器、循環器の専門診療が確立されています。令和2年より新たに甲状腺疾患を中心とした内分泌疾患の専門診療を強化した形で診療を始めました。甲状腺をはじめとする内分泌の手術が円滑に進むように、外科部門と協働し、甲状腺センターを開設しています。内分泌内科と乳腺・内分泌外科が連携し、センター化することによって、甲状腺疾患の内科的管理から外科的切除、またその後の管理や治療までを一貫して行える大阪では数少ない施設となっています。センター開設から令和6年3月までの時点で、エコーや穿刺吸引細胞診841例、甲状腺手術135例を実施しています。このように、100年を超える歴史ある施設でも日々の革新は必要と考え、病院スタッフ一同で新しい分野において特色のある診療拠点としての位置づけを目指して鋭意努力している状況です。今後も当院の職員一同が一丸となり、適切な医療連携をし、地域の先生方および地域の患者さまへ高度な専門医療を提供できるよう目指してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

医学博士／日本内科学会認定内科医／日本内科学会総合内科専門医／日本内分泌学会内分泌代謝科指導医・専門医／内分泌代謝・糖尿病領域専門研修指導医／日本リウマチ学会リウマチ指導医・専門医／日本骨粗鬆症学会認定医

常勤医師紹介

甲状腺センター副センター長
乳腺・内分泌外科部長

野田 諭



医学博士／日本外科学会指導医・専門医／日本乳癌学会乳腺指導医・専門医／日本内分泌外科学会専門医／日本超音波医学会専門医／精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ読影認定医／乳がん検診超音波検査実施・判定医師／日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会乳房再建用エキスピандラー／インプラント責任医師／日本消化器外科学会専門医／日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医

甲状腺センター医長
内科副部長

林 礼行



医学博士／日本内科学会認定内科医／日本病院総合診療医／日本内科学会総合内科専門医／日本リウマチ学会リウマチ指導医・専門医／日本内分泌代謝科(内科)専門医／内分泌代謝・糖尿病領域専門研修指導医／日本骨粗鬆症学会認定医／日本リウマチ学会登録ソノグラファー／日本病院総合診療医学会認定医

診療時間

外来診療日

	月	火	水	木	金	土
午前	-	稻葉	野田 (偶数週)	野田	稻葉	野田
午後	-	野田	-	-	林	-
	-	林	-	-	-	-
	-	甲状腺吸引 穿刺外来	-	-	甲状腺吸引 穿刺外来	-

※内科部門：稻葉医師・林医師

※外科部門：野田医師

受付時間
午前 8:30 - 11:30 (月～土)
午後 12:15 - 16:00 (月～金)

診察時間
午前 9:00 - 12:00 (月～土)
午後 13:00 - 17:00 (月～金)